

交通事故ゼロの安心・安全な埼玉創造事業

事業目的

- ・事故に遭いやすい子供や高齢者を中心に歩行中の交通事故を防止するため、横断歩道における歩行者優先意識の醸成を図ります。
- ・交通事故が多く発生している市町村に対する支援活動を通じて、集中的な交通事故防止対策により交通事故の抑止を図ります。

事業内容

1 横断歩道は歩行者優先の意識を高めるための取組

(1) 交通安全教育の推進

- ・ 県職員を学校、企業、高齢者の集まる公民館などに派遣する出前型交通安全教育を行い、横断歩道は歩行者優先意識の醸成を推進します。
- ・ 歩行中の事故が多い小学校低学年の交通事故を防止するため、交通事故発生状況を踏まえたリーフレットを作成し、学校教育に活用していただきます。
- ・ 自転車通学が増える高校生を対象に、スマートフォンの操作などによる前方不注視の危険性を認識してもらい、歩行者保護を中心に交通事故を防止するため、リーフレットを作成し、学校教育に活用していただきます。



県政出前講座の状況

(2) 情報ツールを活用した情報発信

- ・ 埼玉県公式 YouTube チャンネルで「埼玉県交通安全劇場1話～3話」動画を活用し情報発信を進めます。
- ・ 歩行者が事故に遭わないためのポイントや、運転時にドライバーが気を付ける点などをSNSや広報紙などを活用して情報発信を進めます。
- ・ テレビやラジオを活用した情報発信を進めます。



埼玉県交通安全劇場1話画像

2 交通事故が多発している市町村への事故防止取組支援

(1) 街頭活動支援

- ・ 県、県警察、市町村、関係機関団体、企業が連携し、駅頭や商業施設での街頭キャンペーンを合同で行い、市民への情報発信を推進します。
- ・ 街頭キャンペーンで使用する啓発品や啓発チラシなどを市町村に提供し、交通事故の発生実態に沿った時間や場所における啓発活動を推進します。



街頭キャンペーン

(2) 交通事故防止特別対策会議の開催

- ・ 埼玉県が主催となり、交通事故防止特別対策会議を開催し、県警察、市町村などの関係機関との意見調整や市町村への具体的な支援策についての意見交換を行い、安心・安全な交通環境の創設を推進します。